

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 3月

事業所名 放課後等デイサービス アリス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		整理整頓を心掛けております。	法令で定められたスペースを確保しております。
	2	職員の配置数は適切である	○		保育士・児童指導員等配置しております。	配置基準を守り職員を配置しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		建物の制限がありますが出来る限りの配慮をしております。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		全職員で話し合いの時間を設けております。	目標を設定し期間を定め振り返り、改善点等を検討し行えるようにしております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		職員間で話し合い業務改善につなげております。	集計したものは今後の改善点として活用させて頂きます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			自事業所のホームページにて公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		職員間での研修情報の共有を行っております。	外部研修への参加を継続して実施していきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		一人一人の課題を職員間で議論し、計画に反映できるようにしております。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		誰でも記入しやすく分かりやすいアセスメントツールができるよう心掛けております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日々のミーティングで職員全体で考えております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		一人一人の体調や様子を観察しながら支援しております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			平日は個々に応じて、休日は全体を通して出来るようにしておりますが、課題としていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			状況に応じて、個人や集団で適切に関わっていけるように考えております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前にミーティングを行い、職員全体に伝わるようにしております。	伝達等しっかり出来るよう課題としていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了後にミーティングを行い共有できるようにしております。	伝達ノートや記録等を通して出来るように心掛けていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録の大切さを伝えております。	まだまだ十分ではありませんが、日々検討しより良い記録が出来るように検討していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		職員とも話し合いをし必要性を判断しております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		複数組み合わせ出来るように支援しております。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		職員間で参加者を決めております。	児童発達支援管理責任者だけでなく、児童に関わる全職員の参加も継続して実施していきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時や書面等での連絡をしております。	今後も継続して情報共有を行います。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在医療的ケアが必要な方のご利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		送迎時等に情報共有できるように心掛けております。	相談支援専門員を通して行っております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		まだ学校卒業者がおりませんが、情報共有をしていく予定です。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			積極的に参加できるように心掛けていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		公園や遠足等外出する機会を設けております。	回数を増やしていけるよう検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			参加機会が少ないので今後の課題としていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に必ずお伝えしております。	顔を見て状況や課題等お話し出来るように心掛けていきます。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		現在行っておりません。今後の課題としていきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に十分な時間を頂いております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談があればいつでも一緒に考えていけるよう努めております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		年に数回行っております。	参加人数が増えるよう今後の課題としていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情対応窓口を設置し、重要事項説明書に記載の上周知を行っております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページや書面にて発信しております。	より良く発信できるように今後の課題としていきます。
	35	個人情報に十分注意している	○		全職員に書面にて説明しております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		連絡帳を作成し送迎時にお伝え出来るようにしております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		利用できる場所を開放しております。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを作成しております。	周知の仕方については今後の課題としていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回の訓練を行っております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止研修に参加しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束についての研修を行っております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在指示がある方はいませんが、対応できるように体制を整えていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			書面にて共有できるようにしております。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31年 3月

事業所名 放課後等デイサービス アリス 保護者等数(児童数) 回収数 割合 %

		チェック項目	保護者等数(児童数)				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	3	1		・少し狭いと感じる時もある。 ・壁が真っ白で子供にはさびしい感じがする。	・広々と使用できる空間作りを心掛け、壁には季節感のある飾りつけ等継続いたします。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	2			・看護師配置の件が気になる。	・説明会等行っております。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	3				・出来る限りの配慮を行っております。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9	1				
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	8	2				
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	3	2			・交流の場を広げていけるよう検討します。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	1				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	1				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	2				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	2	1			・保護者会等開催しております。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	2				
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	2				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7	3				
	14	個人情報に十分注意しているか	9	1				
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	2				
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	3		1	・分からない。	・実施した旨報告するように検討していきます。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	9	1				
	18	事業所の支援に満足しているか	9	1			・特に満足している。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。